

～News letter～



かもみーる通信



54号 2014年12月

岐阜大学フォーラム報告

トピックス

- * 岐阜大学フォーラム報告
- * カモミール月曆
- * なでしこ教養セミナー
- * 出前講義
- * 保育園たより



▲ 森脇学長

講演の感想 (アンケートより)

「違うものを平等に扱うことはできない」のではなく、違いを配慮することが大切だという考え方が広まってくるといいと思った。

12月8日(月)に江原由美子氏(首都大学東京理事副学長)をお招きし、「グローバル化時代の大学のダイバーシティ推進～男女共同参画をふまえて～」と題した第43回岐阜大学フォーラムを開催しました。講演会には教職員85名の参加がありました。

講演会では、グローバル化する世界と現代日本社会といった大学をとりまく環境の変化が必然的に女性の活用を求める土壌となっていること、ダイバーシティを推進することにより多様性の中に性別やジェンダーを位置づけることが可能になること、ダイバーシティの推進は大学のミッションと接合性が高いためミッション達成の要因として説明が可能であることなどが紹介されました。また、首都大学東京のダイバーシティ推進室の実施体制や取り組みについても講演されました。質疑応答では、女性研究者在籍比率目標値の設定根拠や障がいのある構成員の支援のあり方と組織文化についての質問が出され、ダイバーシティ推進に関わる関心の高さがうかがえました。

講演会の参加者にとっては、男女共同参画とダイバーシティの関連についての考え方や首都大学東京の取組内容を知ることにより、岐阜大学におけるダイバーシティ推進を如何に実現するのかを考える、貴重な機会となりました。



▲ 江原由美子氏

フォーラム参加後の 認識の変化 (アンケートより)

全く無知であったため、個人的に先駆的におこなっている組織の取り組みや、書物、論文等を調べてみようと思うようになった。



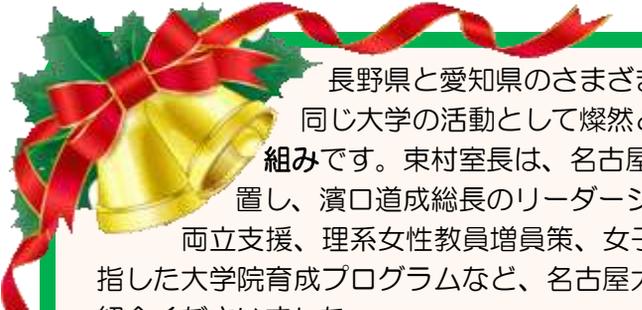
カモミール月曆 (室長からのメッセージ)

副学長(多様性人材活力推進担当) 林 正子

12月10日(水)、名古屋東急ホテルで開催された第13回中部産業振興協議会にて、女性研究者育成・支援活動を中心に、「岐阜大学における男女共同参画推進の取り組み」について報告しました。

「中部産業振興協議会」は、「国の内外から先端産業や研究機関の誘致、産・官・学連携による新技術・新産業の育成等を、行政・学界・経済界が一体となって積極的に推進する組織」(設立趣意書)として、2002年6月に設置された協議会です。中部経済連合会会長の三田敏雄氏(中部電力株式会社代表取締役会長)を座長とし、中部5県1市の自治体、国の出先機関、中部圏の国公立大学、および中部経済連合会のメンバーで構成されています。

今回のテーマ(議題)が、「中部圏の産学官における女性の活躍促進について」であったため、長野県副知事の加藤さゆり氏、愛知県副知事の吉本明子氏、名古屋大学総長補佐・男女共同参画室長の束村博子氏と私が、それぞれの機関の女性の活躍促進に関する取り組み状況と課題について報告しました。
(2頁につづく)



長野県と愛知県のさまざまな制度や事業からも多々学ばせていただきましたが、同じ大学の活動として燦然と輝いていたのが、**名古屋大学の女性研究者支援の取り組み**です。東村室長は、名古屋大学が日本の大学の先駆けとして男女共同参画室を設置し、濱口道成総長のリーダーシップのもと、ポジティブ・アクション、仕事と育児の両立支援、理系女性教員増員策、女子中高生理系進学推進セミナー、女性リーダー育成を目指した大学院育成プログラムなど、名古屋大学全体で推進し成果を挙げているさまざまな施策をご紹介します。

名古屋大学は、平成19年度以降、文部科学省科学技術振興機構（JST）の女性研究者支援事業に継続して採択され、平成24年度国立大学女性教員実数増1位、国立基幹7大学中、女性教員比率1位といった瞠目すべき成果が謳われています。

システム改革加速事業による理系女性PI（Principal investigator 研究プロジェクト・研究グループの長）**教員増加プロジェクト**では、総長管理定員（教授4ポスト）を繰り返し継続的に運用し、女性PI採用を加速していることなど、実効性のある施策を精力的に展開しており、今後の本学における取り組みにも多大の示唆を与えていただきました。

「女性を活かせば、組織（大学・企業・自治体）は活性化する！」という東村先生の力強いお言葉から、組織のトップや構成員が、男女共同参画意識の醸成と制度設計、設備の充実を本気で考え実践することが要諦であり、女性の活躍が組織に多様性をもたらすことで、組織はさまざまな局面に対応可能な柔軟性を持つことができることを、改めて痛感させられた次第です。

協議会の最後に、意見交換の成果が三田会長によって以下のように総括され、中部圏の産学官が連携して、女性の活躍促進の取り組みを強化してゆくことが呼びかけられました。

- ① 女性の活躍促進のためには、**組織トップのコミットメント**が不可欠である。
- ② 男性も女性も、**働き方の見直しやワーク・ライフ・バランスの改善**が必要である。
- ③ **女性の活躍によって「仕事」の質が向上すること**について、積極的な**情報発信**が必要である。
- ④ 女性の活躍促進を単独の課題として捉えるのではなく、東京一極集中の是正、雇用の確保、少子化対応など、**さまざまな課題の解決にも繋がるような対応策**を講じることが重要である。

なでしこ教養セミナー



11月29日（土）岐阜大学サテライトキャンパスにて開催しました。

「生活の近代化と生活改善運動 ～和洋折衷服を考案した尾崎芳太郎の挑戦～」

教育学部 夫馬佳代子 教授

生活改善運動は、大正期に生活の合理化・近代化を目的に行われた普及活動であるが、今回のセミナーでは、特に衣生活の近代化を提唱した服装改善運動とその推進者である尾崎芳太郎を中心に当時日常着であった和服から日本独自の近代的衣服を考案する過程を紹介し、当時の衣生活についての意見交流を行った。

日本の伝統的的衣服である着物の改良は明治期にも試みられていたが、大正期に入ると物資不足を背景に着物生地節約と、女性が活動し易い近代的な衣服形態を考案することが急務とされた。裁縫教育者でもあった尾崎芳太郎は著書『飛行式裁縫術』の中で合理的な裁縫術を考案し、『経済改善 是からの裁縫』前篇・後篇の中では和服を簡易化した「経済服」、和洋折衷服である「改良服」、簡易的な洋服「改良洋服」等の和服から洋服へ段階的に移行する新たな衣服形態を考案した。



▲（再現）
尾崎芳太郎考案の
コンビネーション

日本人が一般に日常着として洋服を受け入れるのは戦後となるが、和服から洋服への転換には様々な試行錯誤がおこなわれていたことを、尾崎芳太郎の考案服を通して改めて考えた。

出前講義

12月5日（金）と15日（月）に、医学系研究科3年 渡邊奈月さん、連合農学研究科2年山本彩織さん、地域科学研究科1年井戸里奈さんが、岐山高等学校の理数科2年生157名を対象とした出前講義をおこないました。

渡邊さんは「ラボライフ～実験・研究ときどき遊び～」と題して、色素前駆細胞が色素細胞以外へと分化するメカニズムについての研究と大学院生活について、山本さんは「ライチョウの研究と私の進路選択」と題して、ライチョウの繁殖に関わるホルモンについての研究と大学院生活について、井戸さんは「自然が大好き」と題して、森林の多様性維持メカニズムの解明についての研究と大学院生活について、それぞれ講義をおこないました。

受講した高校生からは「進路の進み方についてとても参考になりました」、「自分の進路を改めて見つめていきたいと思いました」という感想が寄せられており、今回の講義が進路を考える一助となったようです。



▲渡邊奈月さん



▲山本彩織さん



▲井戸里奈さん

講師感想

○ 渡邊奈月 ○

人に話すことで自分の勉強不足な部分があったり考えがまとまったりしたので、とても良い経験になりました。

○ 山本彩織 ○

（進路選択の話で）内容が等身大な話だったためか、興味をもって聞いてくれたので良かったです。

○ 井戸里奈 ○

高校生の前で、自分の研究やこれまでの人生について話す機会はないので、すごく新鮮だったし、自分の振り返りができたこともよかったと思います。

12月11日（木）に工学研究科1年田中志都加さん、同研究科1年松本千絵さんが、大垣工業高等学校の情報技術科2年生86名を対象とした出前講義をおこないました。

田中さんは「研究紹介」と題して、無人FMS工場内で稼働しているマシニングセンタや部品搬送車を自律的に制御する方法についての研究と大学院生活について、松本さんは「研究と進路選択について」と題して、乳房の緊満度計測システムの開発についての研究と大学院生活について、それぞれ講義をおこないました。

受講した高校生からは「ロボットを作り、使った研究はおもしろそうだと思います」、「将来研究の仕事についてみたいと少し思いました」という感想が寄せられており、今回の講義を通して研究の楽しさを伝えることができたようです。



▲松本千絵さん



▲田中志都加さん

保育園たより

10月9日～11月27日の木曜日に、医学部医学科の地域体験実習で学生が保育園を訪れました。
園児45名が、医学部医学科のお兄さん・お姉さんたちと1対1で楽しく遊びました。



11月18日 岐阜フィールド科学教育研究センターで実習



やぎの赤ちゃん
にも会えました♪



秋の遠足

11月4日 つばめぐみ・はくちょうぐみは、岐阜フィールド科学教育研究センターへ行きました。



勤労感謝

11月21日 日頃の感謝をこめて、勤労感謝のプレゼントをお届けしました。



はくちょう組→保育園 春日園長



つばめぐみ組→教育学部 成瀬さん



はくちょう組→人材開発部 殿崎部長

岐阜大学男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係） URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1 Tel：058-293-3378 Fax：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

*男女共同参画に関するご意見・ご要望は、男女共同参画推進室にお願いします。